

ファイト

No-15

岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)

発行者: 岩井 淑

住所: 〒262-0032

千葉県花見川区幕張町4-2 LM3-104

連絡先: Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825

URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~ku-chan/index.htm>

Mail: iwai-8man@muse.ocn.ne.jp

8月10日 後楽園ホール

1ラウンド負傷判定引き分け

試合当日の10時過ぎに大から「自分が一番楽しむことを一番意識してやってくる！応援よろしくー！」という短い文面のメールが私の携帯に届いた。試合を楽しむ心の余裕と、リングイン時に顔に笑みが自然と広がるようであったなら大は試合に勝つだろう、と私はメール文を見ながら感じた。

『The GREATEST BOXING』と銘打った戸高ボクシングジム興行のセミファイナルにエイトマンの入場曲に乗って後楽園ホールのリングに1年9ヶ月ぶりに登場した大は、眩いライトに照らされボクシングができる喜びを全身から発散しているように私には感じられた。

対戦相手は、思い起こせば4年前の2008年8月5日、後楽園ホールの東日本新人王トーナメント準々決勝戦で判定負けという初黒星を喫した阿部隆臣選手(30歳、新日本木村ジム:16戦13勝1KO2敗1分)である。阿部選手はKO勝利こそ少ないが8ラウンドをしつこく戦い、判定勝利に持ち込むというスタミナ十分な選手で、7月期日本スーパーフェザー級ランキング11位にランクインしている実力選手でもある。また、阿部選手は対戦選手が攻撃を仕掛けてくると巧みにクリンチに逃げる技術を持っているためKO負けをしない試合巧者でもある。4年前のリベンジを期して大はリングに上がったのだ。

試合展開は、2人ともに右オーソドックスのボクサーファイタータイプと似ており、前半1ラウンド～3ラウンドは、お互いのジャブの差合いから試合の主導権を如何に握るかの主導権争いとなるはずであった。ところが、1ラウンド2分過ぎ、大の右ストレートのヒットによって阿部選手の左頬が切れた直後、左ボディを打ちながら踏み込んだ阿部選手の右頬に大の頭が当たり切れて出血。ドクターが傷の状態を見て即時試合中止。結果は引き分けとなるあっけない幕切れであった。大はニュートラルコーナーで狐に摘まれたような表情。観客も、それはないだろー、っていう表情で不完全燃焼。

私はリング下から写真撮影をしながら試合展開を観察していた。熱いハートと冷静な頭脳が要求されるボクシングというスポーツにおいて、大は実に落ち着いた試合運びをしていた。セコンドの指示もよく聞こえていたようでの確な動きが出来ていた。真夏の夜の戦いは熱気を帯び、大は4年前の借りを見事に果すと同時に日本ランキングへの再ランクインを果たす予定でいたのだが残念ながら引き分けという結果となってしまった。



岩井大応援団は今回新たに応援団扇を100枚作成し、熱帯夜に負けない熱い応援を繰り広げた。団扇表面には大の好きな言葉である「努力に勝る天才なし」。裏面には「必勝」の言葉が炎となって燃えていた。それは応援団の熱気そのものであった。

2012.8.10.後楽園ホール



1ラウンド2分過ぎ 大の右クロスで阿部選手は左頬をカット

試合後、大は対戦相手の負傷引き分けということで折角、高い入場料で後楽園ホールまで足を運んでくれたみなさんに対して申し訳ない、という気持ちで沈んでいましたが、徐々に気持ちは回復しトレーニングを再開しています。今回、初めて大の試合観戦に来てくれた方がたくさんいました。大はその方たちへのお礼も込めて次戦ではキッチリ結果を出そうと考えています。



阿部選手の負傷により引き分け判定



【声援1】 I・Kさん

大ちゃん、引き分け残念だったね。昨日の試合は、続行されていたら勝てたと思います。大ちゃんも、試合の為にトレーニングし、調整してきたのにね。可哀想だった。次の試合で、また力を発揮してほしいと思います。応援してるからね。またね～

【声援2】 M・Yさん

今回の結果はしょうがないよね。大くんが悪いわけでもなく偶然的のバッティングだからね。久しぶりに大くんの元気で戦う姿が見られてよかったよ。次も後楽園ホールで応援するからね。頑張ってるね。

【声援3】 I・Mさん

大の戦う姿を見るのは久しぶりだった。お疲れさん。随分遅くなったな。これからだから頑張れよ。

【声援4】 W・Mさん

私、初めてボクシングを見ました。すごいですね。ビックリしました。完全にはまりました。次の試合も絶対応援に来ます。

おやじのひとこと

大、阿部選手の負傷引き分けで十分に実力を発揮できずに残念な気持ちだったろうと思う。しかし、たった2分のリングパフォーマンスだったが相手の左頬をパンチカットし、力は確実についていた。今回の鬱憤を次戦で思う存分に発揮させよう。期待しているよ。